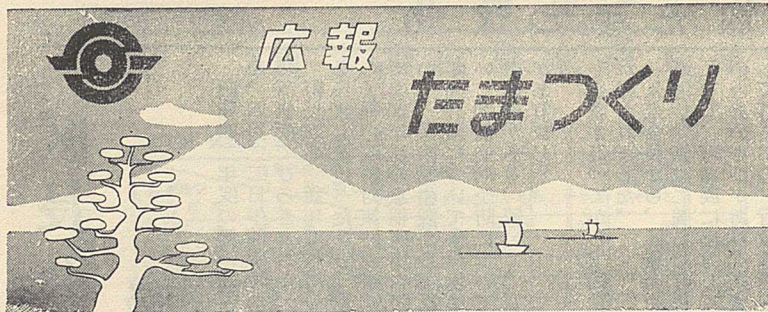




第90号 昭和42年5月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

町のすがた

42年度園児・児童・生徒数
(昭和四二年四月現在)

幼稚園	126	127	127
小1	145	150	151
小2	146	151	152
小3	153	157	158
小4	159	161	162
小5	181	184	185
小6	189	191	192
小学校計	814	834	839
玉造中	504	512	516

自立農家を

どのように育てるか

さる三月一五日、農業委員会から町長に対し「自立農家育成対策に関する諮問」が提出されました。これは、昭和四〇年一月二二日、町長から農業委員会に対して「玉造町の現状において、自立農家育成の具体的な方策はいかにあるべきか」という諮問がなされ、調査研究をかさねてまとめたもので、昨年二月一七日に中間答申（広報第七七号に既報）がなされ、更に調査・検討の結果、今回の本答申となったものです。

答申の内容は、次のとおりです。

本委員会は、昭和四一年二月一七日、玉造町の現状における育成対策の基本とすべき事項、及び育成の諸対策と、その具体的推進方策について中間答申をしました。更に当面の諸対策の推進と調査検討を行ない、具体的対策の答申をすることにしました。

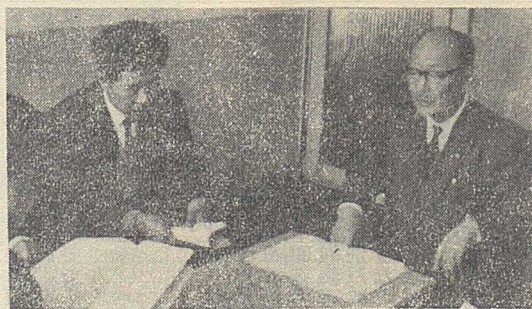
さらに、昭和四一年一月三十一日、町当局を主体として自立農家育成対策協議会が結成され、強力な推進体制が確立されたので、本委員会は対策協議会の今後の活動を期待して、具体的対策については今後建議により行なうことが適切であると考え、現時点における調査結果により、次のとおり答申いたします。

農業委員会からの答申

① 自立指向農家の調査

自立農家の育成については、農家の自立意欲をもとにして育成対象農家

地区	玉川	手賀	玉造	現原	立花	計
農業見込み	61	76	123	114	51	425
農業中心	208	167	218	207	233	1,033
計	269	243	341	321	284	1,458



自立農家とは

① 農業以外の産業に従事するものと同等の生活ができる所得（年間 約八〇万円）を、農業から得ることのできる農家。
② 家族の従事者が年間、完全に就業できる規模の農家をいいます。

これについては、中間答申した施策の検討と推進をはかることが必要です。

② 育成対象農家の当面の指導

調査結果によれば、農家の今後の経営規模の拡大計画は、自立経営を目標としていないものも多く、これらについては自立経営の趣旨徹底をはかるべきであり、更に自立経営研究会等を開催して、中間答申した目標とすべき営農類型をもとに経営指導を行ない、経営改善計画の樹立を促す必要があります。

③ 自立経営の問題点と育成対策

調査結果においても、兼業化をとるもの、現在規模でよいとするもの、耕地拡大のみを希望するものが多く、その反面、経営改善をはかるものが比較的少なく、転換規模も小さくなっています。中間答申でも指摘しましたが、規模拡大による自立化を害する問題点

次ページへつづく

自立指向農家調査結果集計表
玉造町全域

第1表 将来の見とおし別経営現況

農業経営の現況		農業の将来の見とおし		農 業	農 業	兼 業	適当な職業があればやめる	計	
				だけでやる	中心でやる	中心でやる			
世帯責任者	従事程度	農 業 専 従		747戸	396戸	26戸	6戸	1,175	
	40才以上の場合	兼 業 に も 従 事		11	120	36	2	169	
		兼 業 中 心		3	15	32	—	50	
		農 業 専 従		327	134	5	—	466	
		兼 業 に も 従 事		14	58	18	1	91	
		兼 業 中 心		2	8	25	1	36	
	あ と つ き	予 定 者 あ り		136	83	10	1	230	
		未 定		41	30	9	2	82	
	現金収入	5 0 万 未 満			212	320	84	7	623
		5 0 — 7 0			216	118	7	1	342
7 0 — 1 0 0				227	68	1	—	296	
1 0 0 — 1 5 0				97	24	2	—	123	
1 5 0 万 以 上				9	1	—	—	10	
計				761	531	94	8	1,394	

第2表 販売高1位 2位の作物別農家戸数

作物	第1位		第2位		計
	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)	
水稲	932	66.9	171	12.3	1,103
麦	193	13.8	640	45.9	833
大豆	4	0.3	178	12.8	182
落花生	27	1.9	196	14.1	223
タマネギ	173	12.4	44	3.1	217
豚	10	0.7	15	1.1	25
鶏	4	0.3	4	0.3	8
牛	12	0.9	5	0.4	16
乳牛	15	1.1	55	3.9	70
養蚕	1	0.1	1	0.1	2
果樹	—	—	—	—	—
梨	13	0.9	38	2.7	51
柿	6	0.4	16	1.1	22
その他	4	0.3	31	2.2	35
計	1,394	100.0	1,394	100.0	2,788

第3表 将来の見とおし別の規模別戸数

農業経営の現況		農業の将来の見とおし				計
		農 業 だけでやる	農 業 中心でやる	兼 業 中心でやる	適当な職業 があれば農 業をやめる	
経営 耕地 規模	5 反 未 満	5戸	11戸	14戸	2戸	32戸
	5 — 1 0	71	128	55	2	256
	1 0 — 1 5	249	210	21	4	484
	1 5 — 2 0	270	139	4	—	413
	2 0 — 2 5	116	39	—	—	155
	2 5 — 3 0	39	2	—	—	41
	3 0 以 上	11	2	—	—	13
計		761	531	94	8	1,394

第4表 経営拡大の希望手段別戸数(371戸)

将来の農業経営	農業の将来の見とおし				計	
	戸数	割合	戸数	割合	戸数	割合
(1)現在の規模でよい	177	1.27	130	9.3	307	22.0
田を313	15	1.1	8	0.6	23	1.7
畑を132	160	11.5	130	9.3	290	20.8
田畑を392	15	1.1	6	0.4	21	1.5
計	75	5.4	36	2.6	111	8.0
自己資金で	17	1.2	5	0.4	22	1.6
国の資金で	210	15.0	160	11.5	370	26.5
計	492	35.3	345	24.8	837	60.1
(2)計	53	3.8	21	1.5	74	5.3
肉豚	18	1.3	16	1.1	34	2.4
鶏	14	1.0	27	1.9	41	2.9
にわとり	10	0.7	15	1.1	25	1.8
乳牛	13	0.9	8	0.6	21	1.5
養蚕	35	2.5	20	1.4	55	3.9
果樹	7	0.5	3	0.2	10	0.7
梨	11	0.8	19	1.4	30	2.2
柿	—	—	1	0.1	1	0.1
その他	3	0.2	7	0.5	10	0.7
露地	47	3.4	17	1.2	64	4.6
ハウス	51	3.7	25	1.8	76	5.5
その他	—	—	1	0.1	1	0.1
(3)その他	10	0.7	6	0.4	16	1.1
計	272	19.5	186	13.3	458	32.8

区長会長に

野原さん



市郎(小座山) 出沼長右衛門
(宿)菅谷真(緑ヶ丘) 久米久良(下宿) 長峰貞之助(川向)
石川実(中山) 関口憲一(浜)
小沼肇口(八木時)

昭和四二年年度の第一回区長会談を、四月二二日午前十時から、青年研修所でひらきました。
町長から、新年度の町の施策のあらましを述べたあと、産業課から①稲作改善対策特別事業について、②本年度の水稲病虫害防除について、保険衛生課から③衛生事業年間計画について、④環境衛生について、⑤伝染病予防について、などの連絡があり、続いて、質疑応答がありました。

人権擁護委員に

石田さん(芹沢)
鈴木さん(西蓮寺)

玉造町区長会長就任の所信を、一言述べさせていただきます。
さて、戦後二〇有余年たった現在、平和な世相は訪れず、生存競争は一層激しく、交通ではまるで

地獄のようです。政治方面では、なんとつれない暗い影の裏口政治で、そして殺人、強盗などといういやな社会面があまりにも多すぎそこで前会長久米氏におかれましては、長年にわたり区長会発展のため大玉造町建設のために献身的な努力をされ、その功績は誠に偉大なものではなからうかと信じてやみません。久米会長の辞任に伴い、後任として私のような未熟者をご推挙下され、その責務の重かつ大なる事を考慮するとき不安の念にかられます。
しかしながら、町民各位の懸命なご支援とご引立を期待しながら、明るい住みよい大玉造町発展のために、私も本区長会も一体となって町行政に努力を尽くしたいと思

玉造町区長会長就任の所信を、一言述べさせていただきます。
さて、戦後二〇有余年たった現在、平和な世相は訪れず、生存競争は一層激しく、交通ではまるで

長に努めること。
③人権侵害事件について、その救済のための調査及び情報の収集をし、法務大臣へ報告、関係機関への勧告など、適切な処置をする。こと。
④貧困者に対し、訴訟援助その他人権擁護のため、適切な救済方法をとること。
⑤その他、人権の擁護につとめること。

●今後の調査

本委員会は、自立農家育成の諸対策について必要とする事項の調査検討をかさねて答申を行なったものですが、今後の具体的対策を樹立するについても、随時、次の事項を調査することが必要です。
(1)目標農家類型の策定
(2)営農類型の現状と方向
(3)自立指向調査

●主産地化の方向
自立経営のための経営改善指導に当っては、主産地形成を計画した指導が必要なのは中間答申でも述べましたが、自立指向調査結果における転換希望作目別戸数により、農家の選択的拡大の方向をみる事ができます。
これは、農家の意志として主産地化の方向を示すものであり、主産地形成計画の資料となるでしょう。
転換希望作目別戸数は、三ページの表のとおりです。

●むすび

自立指向調査の結果をみると、農業専業を指向するものが増加した反面、兼業化したもの、または兼業化を指向するものが短期間に大幅に増加し、専業化と兼業化の方向が同時にまわっており、階層分解がすすむはじまっているとみる事ができます。
また、現金収入別階層についても、七〇万以下の農家比率がいぜんとして高く、反面、七〇万以上の農家も増加しているが、他産業従事者との所得格差を解消するものとなってはいません。

本委員会は、かねてからの事態を予測して自立農家育成対策の必要を主張し、昭和四〇年一〇月二五日、これについての建議を行なったものであり、育成対策に関する諮問については、従来の構想をもとに調査検討をかさね、必要育成の諸対策を中間答申し、早期実施を要望しました。
本委員会は、中間答申にもとずいて結成された自立農家育成対策協議会の今後の活動を期待し、答申した諸施策がすみやかに実施されることを、かさねて要望いたします。

生野菜やくだもの、たくあん出まわっています。これらは、ビタミン類の補給源であり、美と健康のもとになり、私たちの食生活に欠かせない要素です。
農業や寄生虫・細菌に注意するため、十分、中性洗剤で洗ってから食べるようにいたしましょう。

酪農技術を身につけて

アメリカ留学一年の吉田君



緑ヶ丘部落の吉田清さん(二〇歳)は、酪農技術の実習生として昨年三月二十六日、アメリカ合衆国のカリフォルニア州セバストポリへ渡り四月一日技術を身につけて一年ぶりに帰国しました。

“アメリカ”留学記

私は東京オリンピックの時、競技を見に東京へ行くことができた。その時、高校生だった私はあれほどいた外国人だれ一人とも親しくすることができませんでした。ところが、隣にいた友を見るとき、数人の外人といかにもなごやかに話をしているのではないかと、私には彼らが何を話しているのか全然わかりません。『くそ、そのうち俺だって……』と、私は一人、ひがみにも似た意地をかんでいたものでした。ところが、数年後の私は派米農業実習生といういかにもむずかしい名前をつけられ、百名近い全国の友とアメリカ行きの大型ジェット機「ボーイング 七〇七」に乗っているではないか。夢と不安



の生活を、この目で見る事ができました。食生活の面、夫婦と親子の関係、それに近所隣りの関係などあらゆるものが日本とはだいぶ違うという事が、あらためてはっきりしました。また、「グッド・モーニング」から「グッド・ナイト」まで一日中、英語の生活で「あなたは、アメリカの一年間で何が一番苦しかったですか。」と問われたら、私は「言葉です」と答えるでしょう。朝三時の起床の苦しみなどは問題外です。はじめの二ヶ月は大海にはうり出されたようなもので、右も左もわからず、ただボスの手まね足まねだけをたよりにする生活でしたが三ヶ月が過ぎ、半年も経とうとした時、はじめに聞き取る方がどう

にかましになり、一年が終ろうという時には、ボス達家族の者ともあまり抵抗なく話ができるようになりました。しかし、外国語というものは一年や二年の努力では、マスターできるものではないという事です。初めて気がついたのは、私の夢だった「英語」は、ここでくずれさってしまったのです。帰国後でもないある日、私は友人からこんな話を聞きました。「おまえのアメリカでの一年間は、ただ、農場で働いたというだけのことで、何一つ身についたものもなく、一年間を浪費したようなものである。」実際、そのとおりなのです。毎日、毎日、ボスに従って働いてきたわけですが、私の得た技術的なもので、あえて言うならば、乳の搾り、牛のケルの上手によけられるようになったくらいのものでしょう。

しかし、私はアメリカで体験したこの事は、これからの人生において偉大な力となって私をささえてくれることと信じています。今は日本の空のもとで未来の酪農家を夢見ながら、ただ一匹の乳牛を相手に生活していましたが、私はいつもこう思っています。「俺には友がいるんだ。」アメリカの一年間で得た人間関係、友人関係は、農業技術にまさる価値あるものだと思えます。だから、私はこの一年間の「むだめし」が私の人生でいつかは役に立つ時があると深く信じています。

△腕がなる好シーズン 春や春、五月といえは園芸にとって肥培管理の絶好期で、腕のふり時というわけですね。四月について種をまくもの、株わけをするもの、更に移植のできるものこの月です。土が踏みたくて、庭にでは計画以上に動かしちゃうことのないように、奥さんや、子ども達の意見も聞いて、家族団らんの場に狭いながらも楽しいわが家の庭にしたいものです。

正しい交通ルールの実践を

22日から春の全国交通安全運動

自動車の保有台数ならびに運転免許保有者数の増加はめざましく、これに伴い交通事故は増加の一途をたどり、昨年一年間の本県の交通事故は一一、一四八件発生し、これによる犠牲者は、死者三五〇人・負傷者九、三〇九人にとり、本年に入っても、この増加の傾向はますます激化の状態をあらわしてきており、三月末現在で発生件数三、〇六四件(前年同期より六六七件、二七・八%増)・死者九一人(前年同期より一四人、一八・二%増)・負傷者二、三七三人(前年同期より四一七人、二一・三%増)という増加状態です。

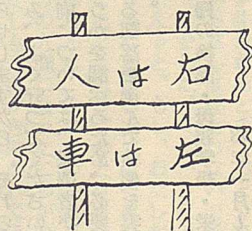
このような状況のもとで、春の交通安全運動が五月二二日から三十一日までの一〇日間、全国一せいに進められます。

- 県民総ぐるみで運動を この運動は、正しい交通のルールを身につけて人間の生命を交通事故から守るため、歩く・車を運転する人・運転者の雇主・その他道路交通に関係するすべての人に交通安全の思想を十分に知っていただき、正しい交通のルールの実践を習慣づけるとともに、交通環境の整備改善等を促進することを目的として展開されます。
- 本県では、茨城県交通対策協議会がこの運動の推進母体となり、市町村・交通安全協会等の各種の団体と協力のもと、この運動を県民総ぐるみ運動として強力に推進することになりました。
- 安全運動の実施目標
- 歩行者の安全横断確保
- 安全な踏切道通行の確保
- 自動二輪車・原動機付自転車及び自転車の安全運転の確保
- 自動車の適正な運行管理及び安全運転の確保
- 車両の完全整備の励行
- 交通事故被害者に対する相談活動の積極化

皆さん、国の行政は公正に行なわれなければならない。日頃、皆さんが国や県、市町村の行政について又は公社・公団・公庫・事業団等の仕事について(1)もっと積極的に促進していただくという考えをも自分でも納得のいかないこと。(2)法律や手続の方法を知らなかったために、思わぬ不利な取扱いを受けて困っている方。(3)こんな手続、こんな要求はどこに頼めばよいかわからない方。(4)苦情を直接関係の役所に持っていくのも都合が悪い。どなたか

人に対して、交通安全思想の普及徹底を図ることを目的とします。標語の例

- もう一度、見てから渡れ手をあげて
- 世界の願い交通安全
- 飲むなら乗るな、乗るなら飲むな
- ブレーキは早目に、スピードは控えめに
- 安全は一人一人の心がけ



気軽に行政相談を

玉川地区	荒井	大久保
藤井	梅原	宗三郎
根古屋	郡司	豊
西谷	西谷	徳次
西連寺	野原	芳一
手賀地区	野原	公年
新田	郡司	昭一
竹の郷	大輪	昭一
舟津	出沼	長右衛門
新宿	森内	富雄
横須賀	木村	市郎
小座山	堀田	市郎
玉造地区	堀田	市郎
現地区	堀田	市郎
緑ヶ丘	堀田	市郎
上木	堀田	市郎
中木	堀田	市郎
若海	堀田	市郎
谷島	堀田	市郎
立花地区	堀田	市郎
八木	堀田	市郎
羽生	堀田	市郎
沖洲	堀田	市郎



私たちの作品

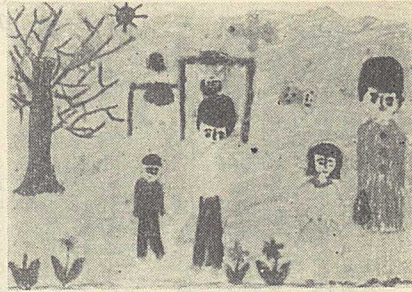
玉川小学校

おとうさんやおかあさんは、いつものように畑の仕事や田の仕事をしています。きつと、おとうさんやおかあさんは、働きすぎてた

つかれた両親

四年 仲田百合子

おとうさんとおかあさんは、いつも、両方でもちよくあて、おもしろいと思ひます。そのあひつから、きょうもしつかりやろうと、私の一日がはじまるのです。



入学式 3年 栗又みどり



くだになつてゐるにちがひない。それでも二人は、毎日、畑にでては仕事をしています。わたしは、おかあさんやおとうさんに、すこしでもらくにしてほしいとおもつてゐる。それも、したことはしたがやりはなげく。でも、わたしは家のことができることは、してゐるつもりだ。それも、あまりよくにたちそうもない。わたしは、ときどき、おとうさんやおかあさんにかたをもんだりしてやると、両親ともにこつとわらうようにほほえみをかんじる。でも、それだけおやこやこうというのではない。ほんとうは、べんきょうもよくして、おんならしくするたいどもおやこやこうの一つだとおもつてゐる。

日よう日

二年 せきのななこ

わたしは、日よう日に山へ、さゆりちゃんのおともだちとピクニックに行くやうそくをしました。土よう日に、おかあさんがちゅうがっこうのピーティーエーに行つたかえりに、いろいろなおかしをかきつけてくれたので、リュックサックにいれました。

さんほ

四年 鬼沢 幸子

チロとねえちゃんやんとちびで、田んぼのあぜ道をかけた。おもいきりかけた。風がむかって来る。急に止つて、クローバーの上にすわつた。

みどりの上に、まっ白なチロの毛がうかびあがるやうだ。とてもいい気持ちだ。いつも、これからさんほに行こうと思つた。

新聞やさん

五年 根本 春江

朝早く、新聞やさんが来て「おはようございます。」と元気にあいさつをします。その元気がよければ、私にとってきょう一日の始まりになります。その人は、まだ中学生なんです。それにくらべて、ずいぶん大きくなった人でさえ、なかなかあいさつのできない人もいます。わたしは、この元気な声は人の気持ちをしめつけさせるような、りっぱな声だとおもいます。

本年度の

衛生のしごと



- ① 狂犬病の予防注射 四月・十月 野犬による被害は、小豚・鶏が倒されたり、畑が荒れたり、相対大いものです。
- ② 生ワクチンの服用 五月・十月 子どもを、小児マヒから守ってください。生ワクチンを服用させることは、現代の常識です。
- ③ 日本脳炎の予防注射 六月 生ワクチンと同様、子どもをお持の家庭では、受けてはならない予防注射です。
- ④ 住民検診 結核は、決して少ない病気ではな
- ⑤ B・C・G ツベルクリン反応によって陰性の者は、B・C・Gの接種を行なうて、結核に対する抵抗力をつくります。
- ⑥ ワイル病の予防注射 六月 希望者だけ行ないますが、ワイル病は霞ヶ浦周辺の風土病といわれており、できるだけ多くの人が注射を受けてください。
- ⑦ 乳幼児検診 八月 子どもは、健康に育てなくてはなりません。
- ⑧ インフルエンザの予防注射 九月 乳幼児の検診を受けて、りっぱに育てましょう。
- ⑨ ジフテリア・百日せきの予防注射 十一月・十二月 寒くなるにつれて、毎年発生する病気です。子どもに対しては、必ず受けさせましょう。
- ⑩ 種痘 十二月 現代においては、種痘を受けない人はほとんどないと存じます。
- ⑪ こう虫(十二指腸虫駆除) 八月 十二指腸虫がおりますと、十二指腸かいようばかりでなく、神経痛・心臓病等、いろいろな病気を起こします。
- ⑫ ハエとカの駆除 家庭用殺虫剤として「デブター乳剤V」を配布いたします。
- ⑬ 妊婦の検診・母親学級・栄養指導 43年一月・三月 子どもは、母親の腹の中に行きかたは、母の栄養面についてのしつかりした知識を持つてこそ、はじめてよい子どもが生まれ、強い子どもに育っていくわけです。
- ⑭ 家の内外の整理 つゆ、そ迎える準備はお済みになりましたか。二十日ごろからはつゆのはしりの雨もやってくるでしょう。
- ⑮ 食中毒の季節 五月も中



五百円で、六月下旬・八月下旬にそれぞれ半額ずつ集金することになっております。

⑭ 伝染病の予防

これからは、伝染病の発生しやすい時期です。

伝染病が発生しますと、

- ・患者の隔離
- ・部落または班全部の消毒
- ・学童の登校禁止
- ・部落または班全部の検便
- ・などの処置がとられます。

伝染病にかかりますと、本人の苦痛はもとより、社会的にも多くの影響を与え、町の負担も増大することになります。どうしても防止しなければならぬことであり、その時々注意事項を週報などでお知らせしますから、それらをよく読み、よく守ってください。

赤痢については、保菌者があるかどうかを調べるため、必要と思われる部落を選んで検便を実施します。

⑮ 妊婦の検診・母親学級・栄養指導 43年一月・三月

子どもは、母親の腹の中に行きかたは、母の栄養面についてのしつかりした知識を持つてこそ、はじめてよい子どもが生まれ、強い子どもに育っていくわけです。

これらの検診・学習・指導は、すべて受けるよう、心掛けてください。

◆食中毒の季節 五月も中

と、気温二〇度以上がつづくようになり、これから食品の取り扱いをいっそう慎重にしなければなりません。

食品の取り扱いには、①よい材料(新しい材料)を、②清潔な手で料理し、③清潔なうつわに盛るということが条件です。この三条件は、どの季節でもいえることです。が、とくにこれから九月末ごろまでは、必ず守っていただきたい法則です。

遠足のお弁当、農繁期の保存食などを作る場合は、細菌の繁殖を防ぐことに十分のくふうをこらしてください。冷蔵庫の過信も禁物でしょう。

◆家の内外の整理 つゆ、そ迎える準備はお済みになりましたか。二十日ごろからはつゆのはしりの雨もやってくるでしょう。

家の中の模様替えには、第一に通風というのを考えておき、壁に「こうり」などがくっついていたら、少し離しておき、お天気のよい日は、戸やふすまをすっきり開放すると、かびなどがはえるのいくらか防げます。

家の外まわりは、ご主人の受け持ち。排水、へいのたみの修理、越境庭木の枝きり、ペンキのぬりかえなど、つゆの前の仕事は、いくらでもあります。

ハイ! ゆうびん

最近、マッチや花火が郵便物の中に入っているのをときどき発見されますが、このように危険性のある品物は、郵便では送れないことになっています。運送の途中で、摩擦などのため発火すると大へんな事態をひきおこすことになるからです。

マッチ・花火などの郵送禁止

これらのものが郵便物にはいつていることがわかった場合には、没収されるのももちろん、刑罰が課せられることもあるので、注意してください。

日本人は、はがき党

郵便はがきは、わが国ではとても愛されているようです。はがきだけで、郵便物の四割を占めています。一年間に、一般用で二十四億通、年賀用をふくめると四十億通くらいあります。アメリカやイギリスでは、郵便物の一割をはがきに割っているそうだから、日本人の愛し方は十倍といえます。

商工会欄

四十二年度 通常総会

昭和四十二年度、玉造町商工会の通常総会を、四月二十七日午前十時三十分から、県商工会連合会会館を招待して役場大会議室で開きました。

議決された主なことは、次のとおりです。
◆昭和41年度の収支決算と事業報告を承認しました。
◆昭和42年度の事業計画基本方針

本商工会は、創立七年目を迎える会員の理解と協力により、年と共にますます発展の一途をたどり、地域商工業者の信頼の度合いを高め、玉造町の産業振興に大きく寄与していることは誠に喜ばしい次第です。

変転する経済情勢に伴う零細企業に及ぼす影響は素観を許さぬ状態にあり、この時にあたり商工会の責務はいよいよ重く、その使命の重大さを痛感する次第です。だから、商工会法の立法精神の高度発揚を図るはもとより、県ならびに町の施策に呼応して、現下の経済情勢に適合する諸般の施策を取入れ、事業の拡大強化に努力せんとするものです。特に、本年度は各事業所の経営合理化に主力を注ぎ、指導に専念したいと考えています。

具体的事業内容

- 一、商業振興対策
中元、年末年始の大売出し
歌謡ショーの実施
先進地の視察
- 二、工業振興対策
工場誘致に対する調査研究
技術講習会の開催
- 三、観光事業対策

観光資源の調査研究
みやげ品としての考案研究
四、金融対策
国民金融公庫の融資あっせん
五、税務対策
青色申告会の育成
記帳の代行

六、福利厚生対策
各種社会保険制度への加入促進
七、その他振興対策
珠算検定試験の実施
各種調査資料の収集
◆昭和42年度収支予算

1 収入の部 (単位円)
会費 三六一、八〇〇
県補助金 一、〇八三、二〇〇
町補助金 六七五、〇〇〇
特別賦課金 二、四〇〇、〇〇〇
手数料 九三、〇〇〇
加入金 三、〇〇〇
寄付金収入 三〇〇、〇〇〇
雑収入 三〇〇、〇〇〇
前期繰越剰余金 五四、五九六
合計 五、〇〇〇、五九六

2 支出の部
経営改善普及事業費 一、三五一、〇〇〇
一般事業費 二、五〇五、〇〇〇
管理費 一、一一八、一八七
予備費 二六、四〇九
合計 五、〇〇〇、五九六
◆昭和42年度借入金限度額を、承認しました。

借入金限度額 五〇〇、〇〇〇
借入先 常陽銀行玉造支店
◆次の役員を承認しました。

理 事 長 原 松男
副 会 長 井川 重松
理 事 石橋 正男
西谷久喜、関野嘉正、齊藤昇、理

崎祐明、高塚正男、出沼忠義、竿台光雄、坂本現男、田沢英、橋詰芳雄、成島良昌、須田政行、松沢嘉司、橋川幾次郎、石毛和之、山中俊男、飯島仁之、関町長寿、井川正己
監 事 鈴木 馨
沼田 詮章

技能検定に合格

さきに実施された技能検定試験に、柴沼恒男さんが建築大工の一级に合格しました。

人 事

新任事務員 楯石 喜代
箱根みち子

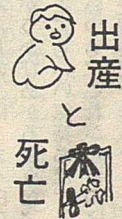
愛鳥週間が、五月十日からはじまります。最近、森林や田畑を荒す害虫類がふえています。これは、野鳥が少なくなっているためだといわれます。私たちの生活に深い影響をもち、野鳥をかわいがりましょう。

表彰

永年勤続者の表彰

昭和四十二年三月九日、全国町村議長会長より永年勤続者(一五年以上勤続)として、次の方々が、それぞれ表彰されました。

町会議員 笹目 義男
竿台 光雄
橋川幾次郎



産 出

赤ちゃんの名 父 続柄 落
根崎 純江 昭治 長女 井上
堀 明美 孝親 三男 井上
義和 義和 二男 荒屋
仲田 一夫 達雄 長男 根古屋
菅谷 哲宏 八郎 長男 新田
理崎 茂男 市郎 長男 新田
野原まゆみ 勝一 二女 小座山
曾根 清 一充 長男 宿
大和田 勝 勝弘 長男 宿
瀧崎みつ子 嘉吉 長女 上宿
武井三子 誠也 二女 里
石田 幸子 誠也 長女 里
風間 勝 敏夫 二男 沢
中村のり子 昭雄 四女 沢
鈴木 明美 正志 長女 中
齊藤 範子 幸一 二女 若海
山崎 信行 幸一 二男 羽生
福田ひろ子 満男 二女 羽生
吉川みゆき 靖也 長女 羽生

死 亡

おめでた
〇四月〇
〇おめでた

氏 名 年令 部 落
高塚 栄一 三 西連寺
関野 よね 八四 井上
高塚利三郎 七二 津
根崎 耕作 五四 下池
成島 せい 六七 泉
坂本 雅夫 六一 八木
鳥羽田寛重 八三 羽生
羽生 もむ 九七 洲